



日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

92.10.23 No. 3679

本日は待たず

営業関係強制配転者が怒りの決起!

今日一〇月二三日、一三時以降、営業関係強制配転者が、「原職奪還」へ向けたストライキに立ち上がる。

「人活センター」設置から引き続き、差別・選別の歴史に、怒りの決起を通して終止符を打つための、反転攻勢の闘いである。

思い返せば、「JR体制」打倒の闘いの突破口を担い、JR以降後、初のストライキに立ったのは、営業関係の強制配転者であった。

この闘いが、のちの運転関係でのスト清算事業団闘争「九二・三ダイ改」

動乗改悪阻止闘争・運転保安確立・闘う動労の再建」の闘いの先鞭をなしたものであり、不当労働行為の横行する「暗い職場」環境で奪われた権利奪還の闘いへの序曲となったことを今こそ確認できる。

昨年からの崩壊過程をころげ落ちる、「JR体制」労働政策の変更・JR総連の瓦解状況は、必ずや東日本・貨物にも波及することは必至である。

反合・運転保安確立の闘いの旗を高く掲げ、労働条件確立の闘いを押し進める動労千葉の闘いが、この時期であるから

こそ最も求められているのだ!

「JR東日本鉄道部門五万人体制」貨物八千人体制」などの大合理化攻撃阻止へ、「JR体制」打倒の闘いへ、原職奪還一〇・二三ストの持つ意味は決定的である。

あらゆる闘いに結合する反転攻勢の闘いの第一段の闘いを、営業から再度構築するのだ。

JR当局との最大の組織攻防戦である強制配転者の原職奪還へ、組織の総力をあげて決起しよう!



俺たちは負けない!
原職奪還まで闘う!
総武支部
長田支部長

一九八八年四月からすでに四年半、長い人で六年間も営業関係・売店に「塩づけ」にされてきた。

俺たちはこの間、「分割・民営化」反対闘争や動労革マルの裏切りにより卑劣な差別・選別を受けてきた。しかし、動労千葉の闘いは、JRで働く全ての労働者の権利を代表した正義の闘いであり、絶対的の攻撃に負けられないという決意でこれまで頑張ってきた。

当初は「営業で勉強してもらいたい」などと言っておきながら、その後は兼務はずしを強行し、八九年秋から「塩づけ」が

始まった。儲からないと分かっている売店に強制的に配転し、今更儲からないと言って売店を廃止し、再配転を行なうなどということは言語道断であり、絶対に許せない。廃止する以上は元の運転職場に全員を帰すのが筋だ。

今回の再配転に対して俺たち営業に強制配転させられた仲間たちは全力で決起し、ストライキを闘いぬく。動労千葉に結集する全てのみなさん!共に本日のストライキを闘いぬこう!